



すぎさん








<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和4年 9月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

「将来つきたい仕事」

副校長 板垣 聡美

夏休み教え子から電話がかかってきました。「先生になることを目指して大学で学んでいます。」とのことでした。私は「どうして、先生になろうと思ったの」と聞くと「子どもが大好きで、今、学童にボランティアに行っています。それから、先生が担任で授業からちょっと脱線した時の話がとってもおもしろかった。今でも時々思い出します。」と返事が返ってきました。学習から脱線とは、ほめられることではありませんが、確かに、子どもたちは脱線した話こそキラキラした目で聞いていました。いつもこんな風に集中して聞いてくればいいのかと思うこともありました。なぜ、子どもたちは真剣に聞くのでしょうか、そこには教師の体験を通したものの見方や考え方、生き方のようなものを感じるのだと思います。知識や技能の学びではなく、その時は先に生まれた者として、伝えたかったことがあったような気がします。

私の小学校低学年の頃の夢は、スチュワーデス（現在のキャビンアテンダント＝客室乗務員）でした。当時のテレビの影響もあったのかと思います。しかし、地方の山間に住んでいた私は、どうすればその仕事につけるのか調べることをさえずに夢は夢として消えてしまいました。今年の夏休みは、子どもたちの夢やなりたい職業について触れる機会や情報が多かった様に思います。本屋で「宇宙人とみつける仕事図鑑」という本を目にし、手に取ってみました。そこには576の職業があり、その職業全てについてのデータ（仕事内容・なるにはどうすればよいか・その仕事を極めた人が持つ能力・仕事のつらい、嬉しいと感じる瞬間）が書かれてありました。客室乗務員を覗いてみると、飛行機に乗ったお客さんが機内で快適に過ごせるようにする仕事。お客さんの安全も守る。大学で外国語を学んだり、専門学校での養成コースで学んだりする。どんな状況でも落ち着いた

て対応できる「空のような包容力」。♡お客様に自分の機転で対応し解決できたとき。読み進めていくと、空港や飛行機に関わる仕事は、パイロット・空港管制官・グランドハンドラー・入国審査官等15以上もあり、働く仕事の種類の多さに驚きました。

夏休みに第64回 全国公立学校教頭会研究大会に参加しました。その記念講演で大友啓史氏（映画監督）の話聞く機会がありました。彼は岩手県盛岡市の出身で市内の小中学校で学び、当時は白球を追う野球少年だったそうです。その時は、プロ野球選手を目指していたのか、映画監督など全く意識の中に無かったそうです。高校生になるとき両親が海外へ行くことになり、自分は地元に残り高校時代を過ごすことになりました。その頃は、とにかく映画館に通って多くの映画に触れたそうです。慶應義塾大学法学部法律学科を卒業し、アメリカ・L.Aに留学し、そこで高校時代に観た映画の世界に触れ、脚本演出を学びました。帰国後NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」大河ドラマ「龍馬伝」等を演出し、NHKを退職後、映画「ハゲタカ」「るろうに剣心」等、多くの作品を監督し、世界的な映画監督へとなられたそうです。

世の中には多くの仕事があり、そこで働く人々のおかげで社会が動いています。仕事につくきっかけは、電話をくれた教え子のように、子どもの頃から目指した仕事に向かって行く人もいれば、大友監督や私のように成長過程や周りの環境で選択する仕事が変わっていく人もいます。今、子どもたちは変化の激しい時代の中で、どんな夢をもち、どんな仕事につきたいと思っているのでしょうか。その手助けができるのは、私たち大人です。今、この時の子どもたちの思いを大切に、真剣に向き合っていきたいと思った夏でした。

※ 参考文献「宇宙人とみつける仕事図鑑」
監修 リクルートエージェンシー 出版 文響社